

子どもの未来応援ネットワーク

vol18

情報誌

ケース数

子どもの未来応援団員登録者数

情報元	件数 (R6.1.31現在)
応援団員	191
学校	118
その他	94
合計	403

中学校区	登録者数 (R6.1.31現在)
第二中	222
第三中	261
第四中	240
第五中	229
第七中	177
門真はすはな中	205
企業等	156
その他・市職員	149
合計	1639

「自信がない」「間違っていたらどうしよう」「こんなことで連絡してもいいのかな」などの心配は一切ありません！
まずはご連絡・ご相談ください。
応援団員の皆さまの少しの気づきが、その子どもを救います。

応援団員研修受付中！

皆さまのまわりで「応援団員に登録したい。」「子どものために何かしたい。」と思われる方がいましたら、養成研修の受講をお勧めください。

◎受講までの手順◎

1. 受講者を3人以上お集めください。
2. 子どもの未来応援チームへ連絡いただき受講日時と実施場所の調整をしてください。
会場をご用意いただければ出張いたします。
3. 当日に養成研修を受講していただいた後にご登録いただければ「応援団員の証」(バッジ)をお渡しします。

子どもの未来応援チーム ☎06-6902-6098

門真市制施行60周年記念事業

公民連携キャリア教育イベント ミライのシゴトEXPO

子どもたちが様々な職業やスポーツを体験することで、将来の目標や夢を持つきっかけになることを目的としたイベントです。

令和5年11月25日に開催しました！



御菓子司亀屋則克



脇田グループ



ソフトバンク株式会社



自衛隊



忍道蜻蛉館



マジシャン優雅



海洋堂ホビーランド



株式会社アカベ

写真に載せているものも含め、全部で29の企業・団体様にブースを出展していただきました！

イベントに参加してくれた 子どもと保護者からの感想

職員さんが神対応だった！

子どもが大好きな働く車を
間近で見えて触れることができ、
制服も着せていただいて大喜び
でした。

いろいろなものを貰えて、
体験もできてよかった！

皆さんが優しく、親も見てて
楽しかったです。
ありがとうございました。

映像づくり体験をしたり、
物を作ったり、体験型を
楽しんでいました。

ご協力いただいた応援団員の皆さん
ありがとうございました。



NPO法人トイボックス主催 宿題カフェ特集

令和5年の4月から移転された宿題カフェの様子です。応援団員の皆さんは、受付から子どもの見守りまで行っています。日々見守りながら子ども達とコミュニケーションをとる中で、子どもの気になる点があれば、子どもの未来応援チームへ情報提供していただいています。「お手伝いをしてみたい」など、少しでも興味があれば、下記連絡先へお問い合わせください。



スタッフ
募集中

舟田東自治会館

学年問わず集まって勉強できるこのスペースは毎週月曜日に開催しています。子どもたちは宿題を終えた後、折り紙をしながら応援団員さんとの交流を楽しんだり、近くの公園へ遊びに行ったりしています。

15:00~17:00に
開催しています

実施場所	基本的な開催日
舟田東自治会館(舟田町44-4)	月曜日
イズミヤショッピングセンター門真(新橋町3-1)	
門真団地中央自治会館(千石東町6-25)	
四宮住宅集会所(北岸和田2-7)	火曜日
枚方信用金庫門真東支店(下馬伏町29-3)	
二島わくわくクラブはやせ(三ツ島1-14-7)	
パティスリーエルブランシュ(石原町1-1)	
大橋町自治会館(大橋町17-2)	
SUMOMOBAKERY(柳田町27-9)	
弁天池公園事務所(岸和田1-8-2)	水曜日
ルミエールTSUMIKICOFFEE(末広町29-1)	
千石西町A集会所(千石西町11-6)	
枚方信用金庫大和田支店(野里町4-13)	
中塚荘(月出町11-1)	
ドラッグストア アカカベ門真江端店(東江端町10-36)	木曜日
	金曜日

(問い合わせ先)

電話：06-6907-8101(NPO法人トイボックス)
06-6902-6095(こども政策課)
06-6902-6098(子どもの未来応援チーム)

『子どもの未来応援団員』がスタッフとして活動することにより、子どもたちのシグナルを早期に発見し『子どもの未来応援チーム』△情報提供していただくことで、その子どもや家庭に必要な支援を届けることができます。

お詫び (宿題カフェについて)

令和5年10月に発行しました「子どもの未来応援ネットワーク情報誌vol.17」で、宿題カフェの主催がNPO法人トイボックス様であるにも関わらず、門真市と捉えられる表記がございました。

今後、再発防止に努めさせていただくとともに、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

こども部こども政策課

子どもの未来応援チーム対応ケース事例

皆様からいただいた情報を元に情報収集を重ねて、支援の方向性を決め、「子どもの未来応援推進員」が学校や家庭を訪問して子どもや保護者の支援を行っています。

継続的に支援を続けることによって、家庭環境が改善するのに伴い、子どもの状態も好転していきます。

応援団員の皆様からの情報があつたからこそ、子どもを救う一歩となりました。

今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

情報元	応援団員
対象者	中学生
家族構成	母・本人・弟
学校情報 行政支援状況	学校にほとんど通えていない。 子どもが家で暴れる。
困り感	<p>①小学校からほとんど学校に通えておらず、家では暴れて弟に当たってしまう。</p> <p>②母親は子どもが中学校にも通えないと思い、中学校の学校の制服を準備していなかった。</p>
支援	<p>①推進員が母親の話を聞くよう徹底し、相談しやすい関係作りに努めた。</p> <p>②推進員が学校と連携し、中学校の制服を準備する。母親の意見を聞きつつ、今後の進路に関する資料を渡す。</p>
結果	<p>最近では、家で暴れることが少なくなり、学校の行事に参加できるようになった。</p> <p>母親は、推進員に気軽に相談するようになり、子どもの進路についても考えられるようになった。</p> <p>現在も継続して対応中。</p>